



株主懇談会

ラックホールディングス株式会社

2010年6月24日

JASDAQ(証券コード:3857)
<http://www.lachd.co.jp/>

目次

1. 会社概要

2. 企業理念/ビジョン

3. 全社戦略

4. 経営目標

5. 経営施策-'11年3月期-

6. 連結業績予想-'11年3月期-

7. 事業計画-'11年3月期-【全般】

8. 事業計画-'11年3月期-【システムインテグレーションサービス(SIS)事業】

9. 事業計画-2011年3月期-【セキュリティソリューションサービス(SSS)事業】

10. 事業計画-2011年3月期-【ディーラー事業】

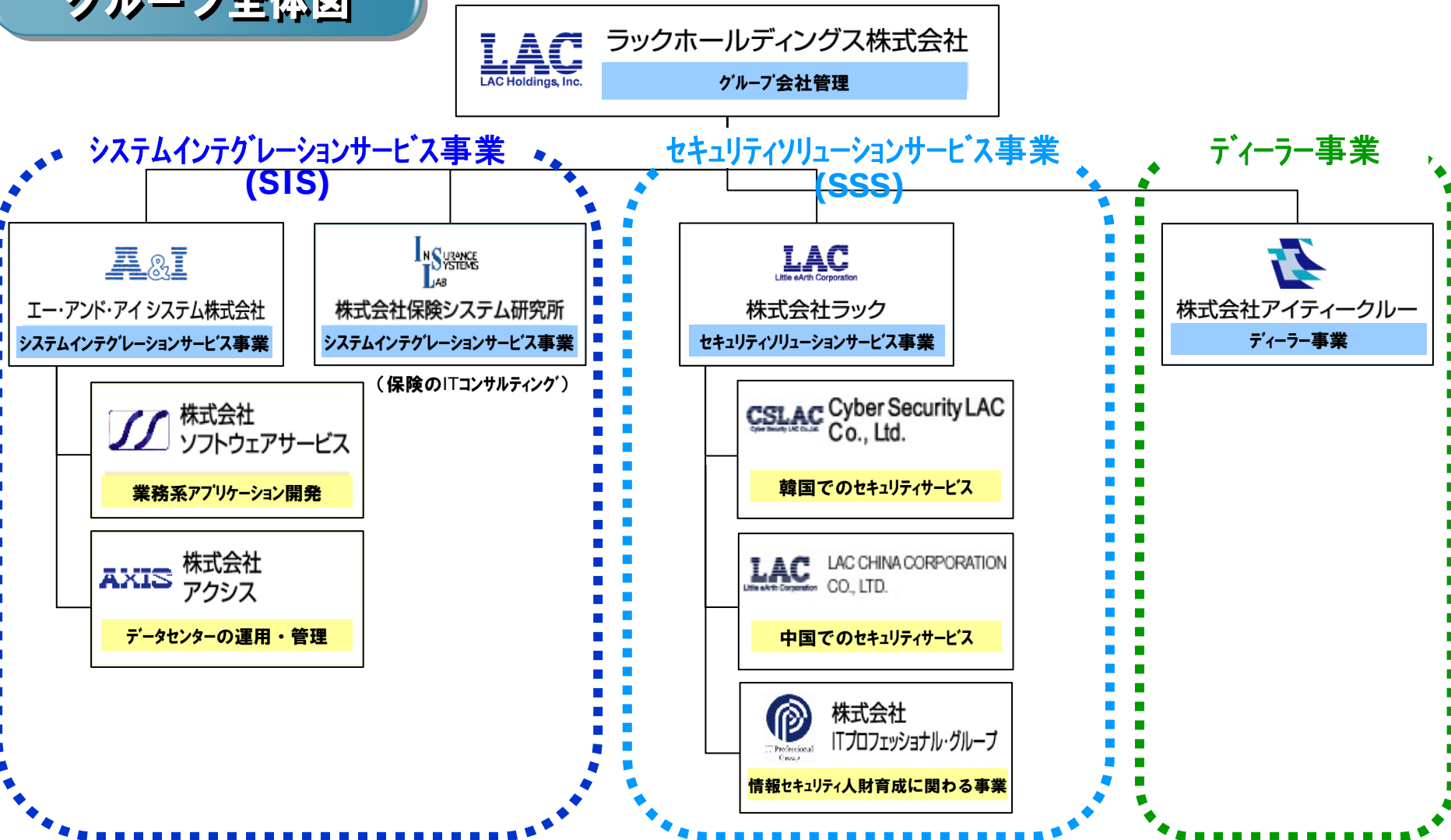
11. 事業統括室の役割と狙い

12. 国際事業室の役割と狙い

1.会社概要

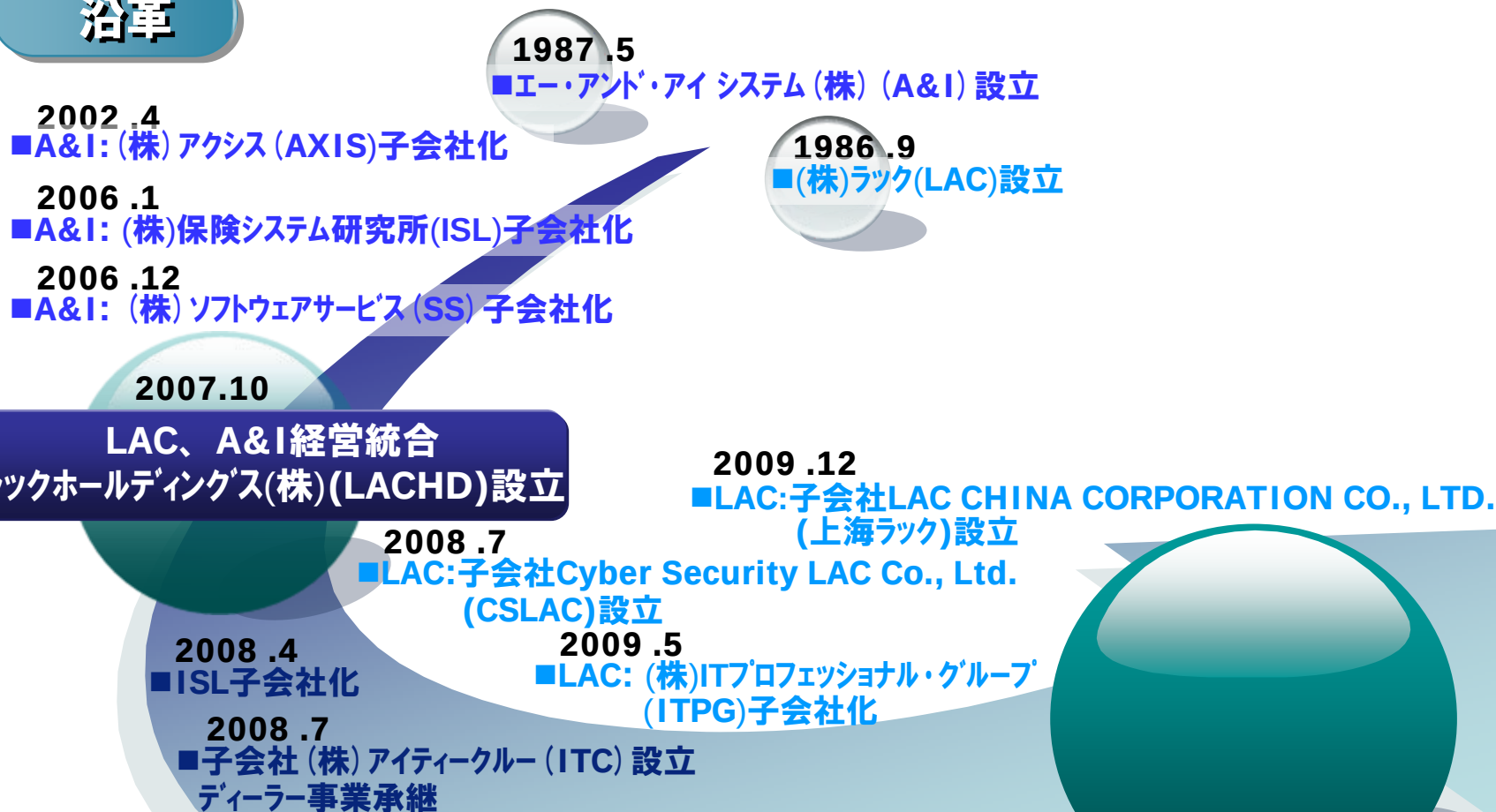
2010年6月24日現在

グループ全体図

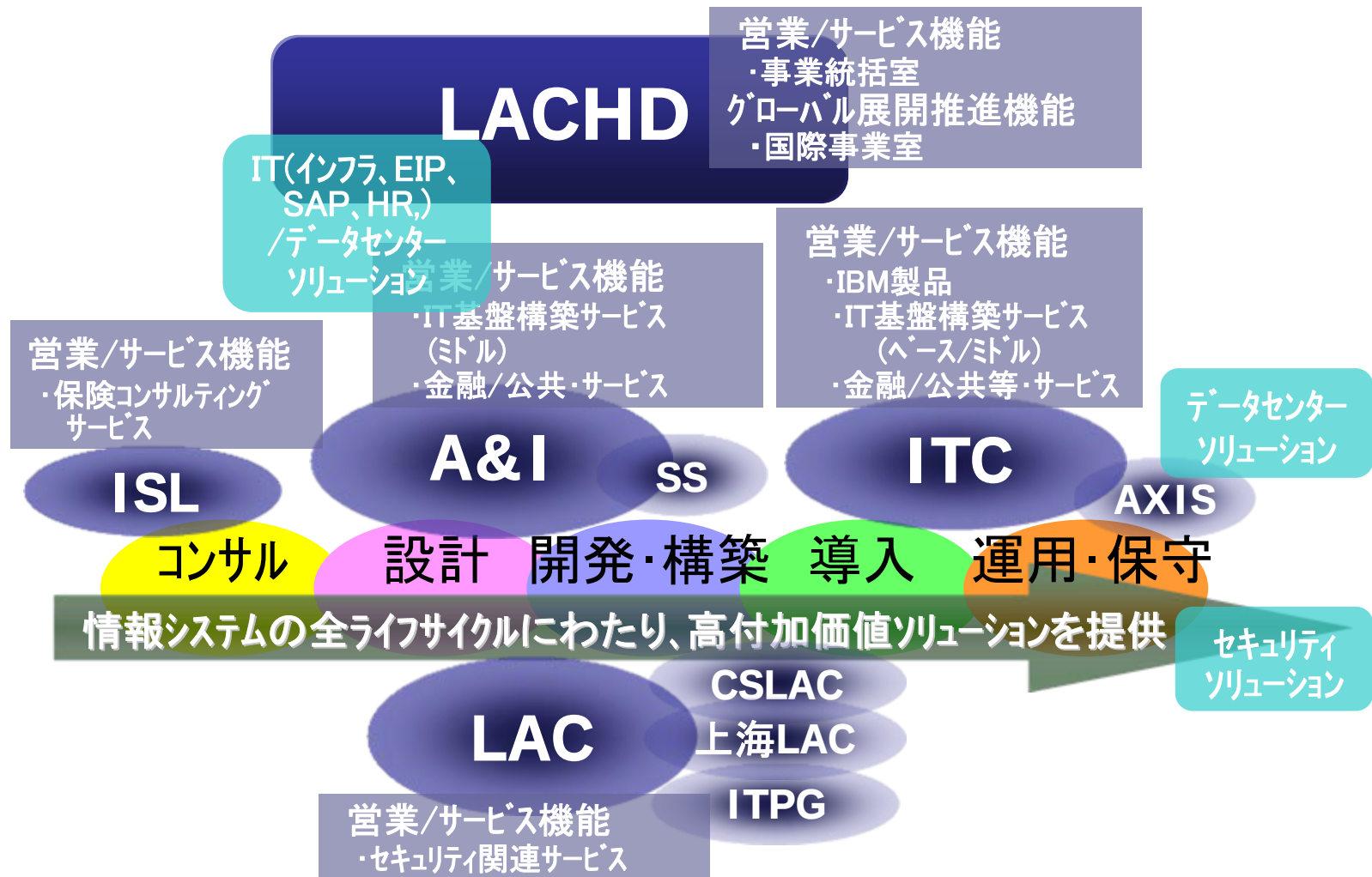


1.会社概要

沿革



1.会社概要



1.会社概要

会社概要

商号	ラックホールディングス株式会社
英文名	LAC Holdings, Inc.
事業内容	子会社およびグループの経営管理ならびにそれに付帯する業務
本店所在地	東京都千代田区平河町2丁目16番1号 平河町森タワー
売上	連結 32,215百万円 個別 2,023百万円（2010年3月期）
社員数	連結 1,579名 個別 88名（2010年3月末現在）
資本金の額	10億円
発行済株式数	26,683,120株
単元株式数	100株
事業年度の末日	3月31日
上場取引所	大阪証券取引所（ジャスダック市場）

1.会社概要

役員

2010年6月24日現在

代表取締役 会長 兼 社長

取締役

取締役

常勤監査役

常勤監査役

社外監査役

社外監査役

三柴 元

牧野 敏夫 [社長室長、兼経営戦略室長、経営管理室 管掌]

中川 孟 [業務変革室、財務・経理本部、総務・人事本部 管掌]

畑 康德

堀内 誠夫

酒井 富雄

網野 猛美

執行役員

執行役員

執行役員

執行役員

執行役員

執行役員

執行役員

執行役員

執行役員

執行役員

執行役員

齋藤 理 [LAC代表取締役社長]

米田 光伸 [ITC代表取締役社長]

高梨 輝彦 [A&I代表取締役社長]

平林 雄三 [ISL代表取締役社長]

怒和 秀昭 [事業統括室長]

伊藤 信博 [財務・経理本部長]

三柴 照和 [国際事業室長]

岩崎 勝 [経営管理室長]

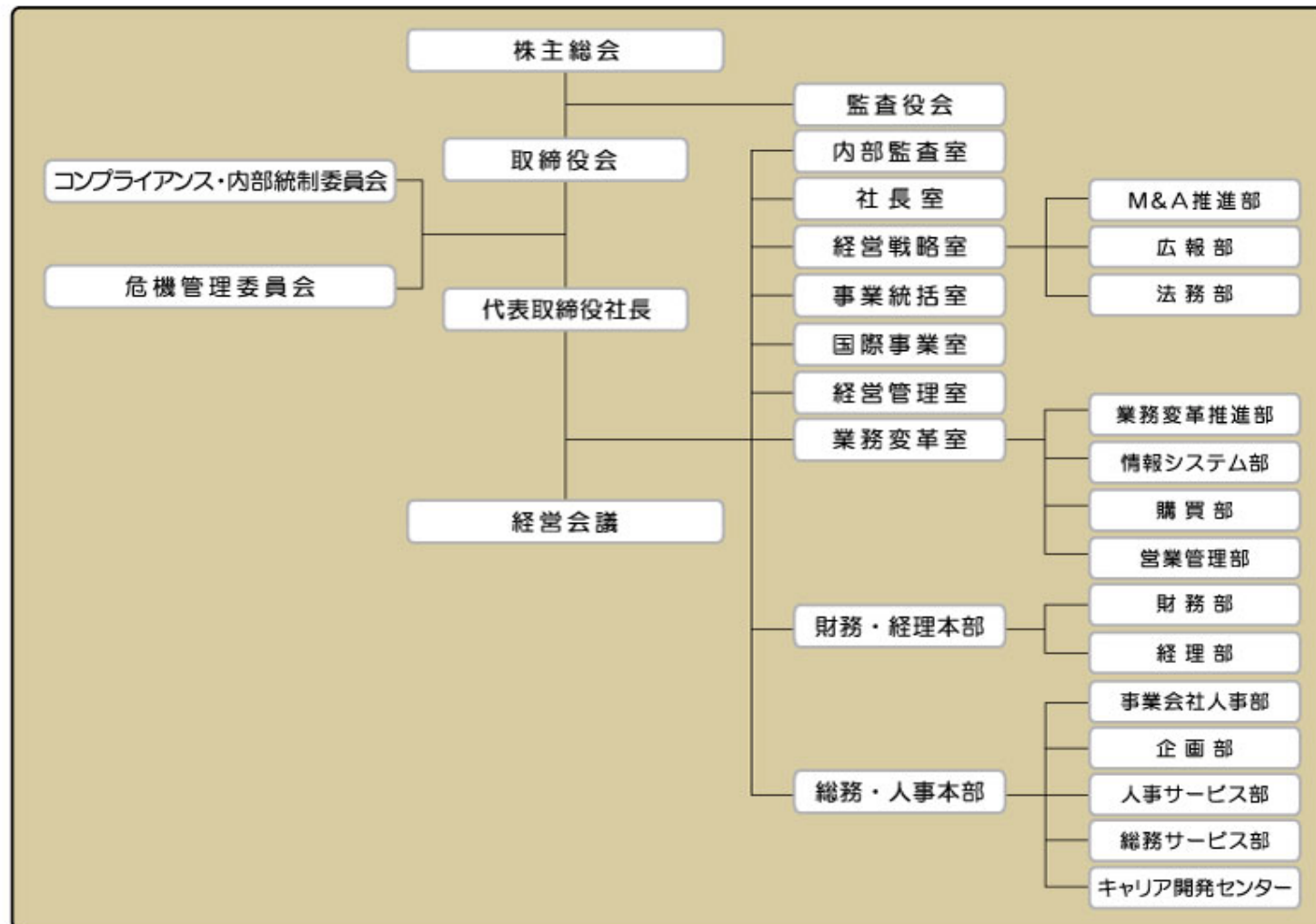
山城 隆志 [業務変革室長]

鎌田 寿雄 [総務・人事本部長]

1.会社概要

組織図

2010年6月24日現在



2. 企業理念/ビジョン

企業理念

進化し続けることで成長し、持続可能性の高い経営により、社会にとってなくてはならない存在を目指します。



2. 企業理念/ビジョン

経営ビジョン



高度な情報技術によるサービスを提供する
社会インフラを支える企業

- コーポレートガバナンスの充実とコンプライアンス重視の経営
- お客様中心の視点でより価値のあるソリューションを提供
- 高度な情報技術による先進性の追求
- 社員がいきいきと楽しく働く企業
- 健全な成長を持続する企業
- 国際企業への飛躍

3. 全社戦略

グループ基本戦略



4. 経営目標

経営の基本方針：継続的な成長と安定的な収益確保

◆売上高伸長率	： 10 %以上
◆ROE（自己資本当期純利益率）	： 20 %以上
◆ROA（総資産経常利益率）	： 10 %以上
◆DOE（純資産配当率）	： 5 %

配当の方針

- ・ 長期的かつ継続的な配当水準を維持
- ・ 年2回の配当
- ・ 利益の変化や業績に左右されない安定的な配当

5. 経営施策-2011年3月期-



経営基盤 の強化

- オフィス統合を踏まえた業務の標準化・合理化による効率的経営の推進
- 社長直轄プロジェクトによる経営管理データのグループ統一システムの構築



ポートフォリオ の強化

- 選択と集中による経営資源の最適化
- グループ総合力によるお客様との関係維持強化ならびにお客様の開拓



付加価値と 生産性の向上

- お客様のIT投資の最適化に向けた提案活動の推進
- プロジェクト管理における品質管理システム・体制の拡充



グローバル 展開

- 台湾ウィッツ社との事業提携によるグローバルリソース活用の推進
- 中国現地法人(上海LAC)による日本企業向けサービスの展開
- 韓国現地法人(CSLAC)による情報セキュリティ・ビジネスの推進



人材の育成

- 人材の多様性と自己啓発意欲を尊重した養育の推進
- 次代に合った人間力、経営力および技術力の強化
- 業績連動型年俸制度の全社展開による経営力の養成



6. 連結業績予想-2011年3月期-



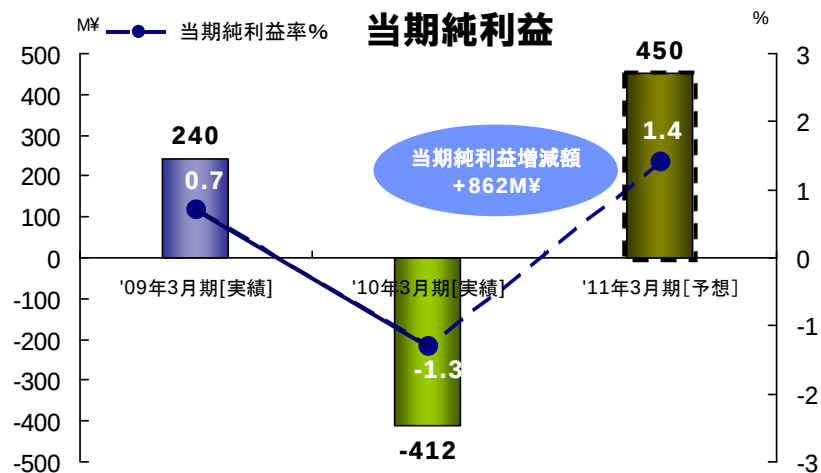
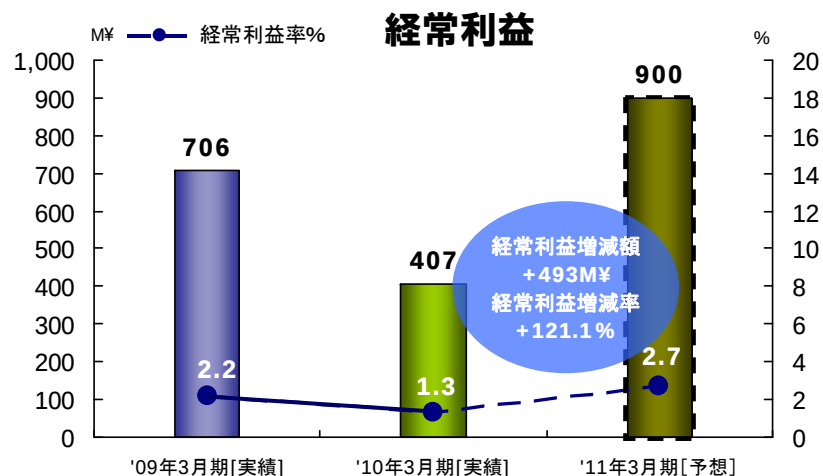
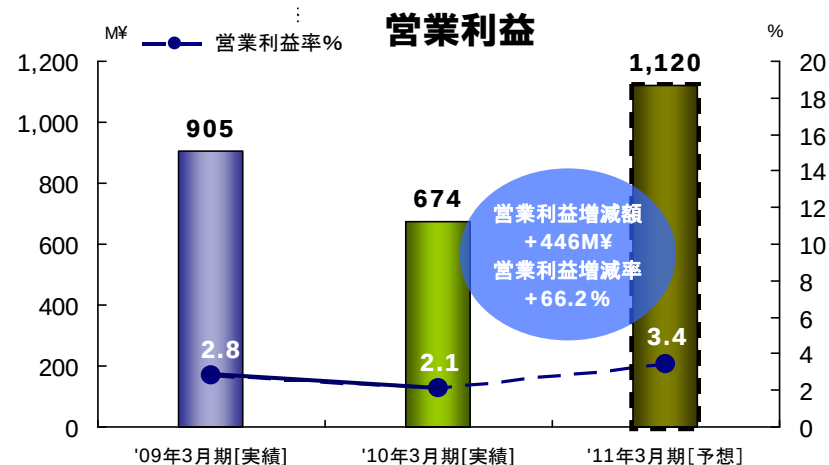
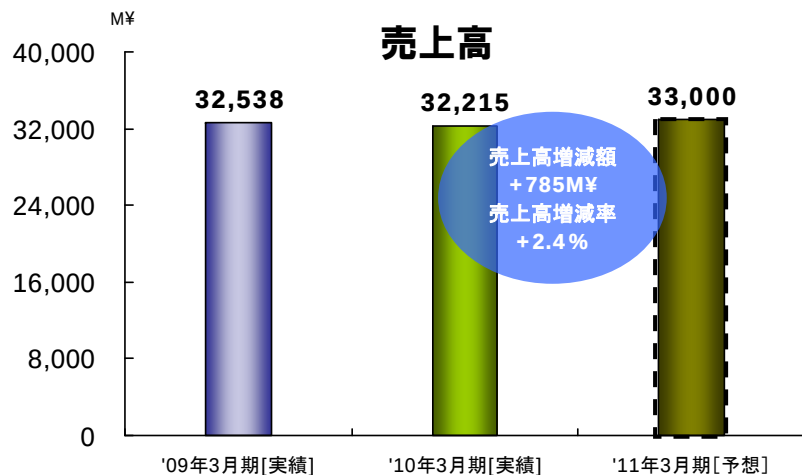
(百万円)

科目	'10年3月期	'11年3月期	前期比	
	実績	予想	増減額	増減率 %
売上高	32,215	33,000	+785	+2.4
営業利益	674	1,120	+446	+66.2
営業利益率 %	2.1	3.4	+1.3p	-
経常利益	407	900	+493	+121.1
当期純利益	△412	450	+862	-
EBITDA	1,852	2,240	+388	+21.0
一株当たり当期純利益(EPS)	△18円57銭	9円93銭	+28円50銭	-
一株当たり配当金	10円	10円	0円	0

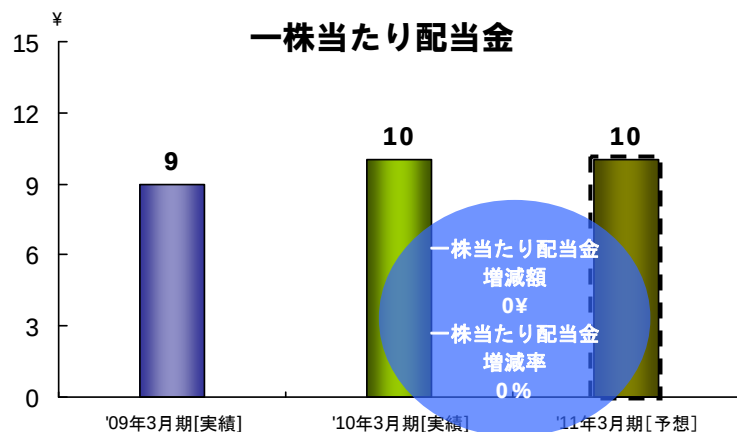
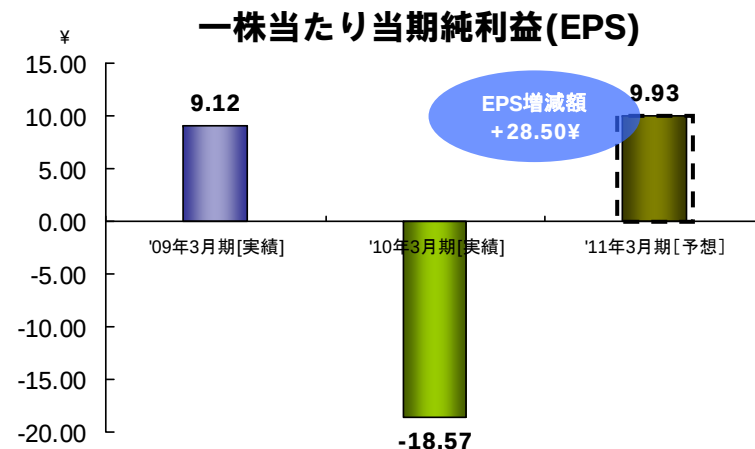
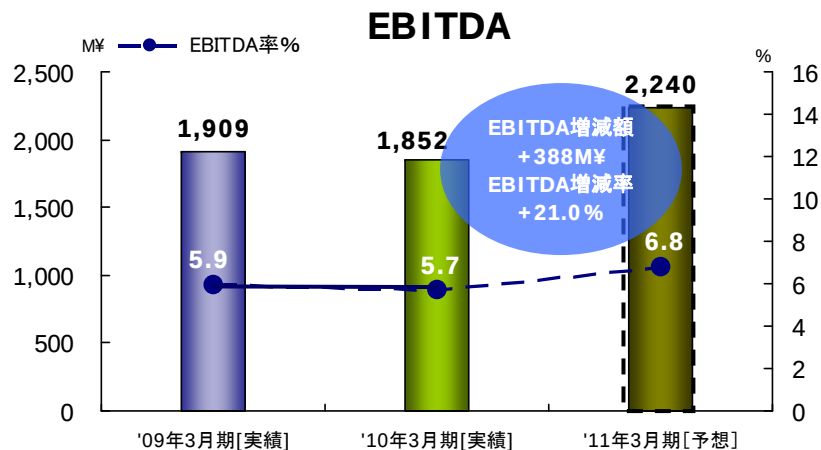
EBITDA; 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

一株当たり当期純利益/配当金; 普通株式に係る数値

6. 連結業績予想-2011年3月期-



6. 連結業績予想-2011年3月期-



EBITDA; 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

7. 事業計画-2011年3月期- 【全般】



市場と事業環境の認識

- 厳しい事業環境が続くことが予想され、IT投資に関しても収益性がより重視される。
- 法規制対応、企業統合などの必然性の高い需要は継続し潜在している。
- お客様との協同プロセスを踏まえ、経営ニーズをとらえたソリューション提案が求められている。



- 開発サービス
- ソリューションサービス
- 関連商品

- 緩やかな景気回復にともない、企業の情報セキュリティへの投資抑制は緩和していくことが予想される。
- 情報セキュリティ投資は運用監視サービスなど必要不可欠な投資にのみに絞られる傾向があり、即効性やコスト削減につながるソリューション提案が求められている。



- コンサルティングサービス
- 構築サービス
- 運用監視サービス
- 関連商品

- 金融業界ではIT投資に消極的な状況が継続している。
- 効率化追求やコンプライアンス強化等のIT投資領域に対応するソリューション提案が求められている。



- HW/SW販売
- SEサービス
- 保守サービス

7. 事業計画-2011年3月期- 【全般】



(百万円)

売上高	'10年3月期	'11年3月期	前期比	
	実績	予想	増減額	増減率 %
システムインテグレーションサービス(SIS)事業	11,956	12,450	+494	+4.1
開発サービス	10,805	11,480	+675	+6.2
ソリューションサービス	315	450	+135	+42.9
関連商品	834	520	△314	△37.6
セキュリティソリューションサービス(SSS)事業	4,427	4,700	+273	+6.2
コンサルティングサービス	1,281	1,530	+249	+19.4
構築サービス	185	200	+15	+8.1
運用監視サービス	2,173	2,140	△33	△1.5
関連商品	787	830	+43	+5.5
ディーラー事業	15,830	15,850	+20	+0.1
HW/SW販売	6,887	7,450	+563	+8.2
SEサービス	2,854	2,430	△424	△14.9
保守サービス	6,087	5,970	△117	△1.9
合計	32,215	33,000	+785	+2.4

7. 事業計画-2011年3月期-【全般】



(百万円)

営業利益	'10年3月期	'11年3月期	前期比	
	実績	予想	増減額	増減率 %
システムインテグレーションサービス(SIS)事業	1,431	1,686	+255	+17.8
セキュリティソリューションサービス(SSS)事業	555	772	+217	+39.1
ディーラー事業	40	750	+710	+1775.0
消去又は全社	△1,352	△2,088	△736	-
連結	674	1,120	+446	+66.2

(百万円)

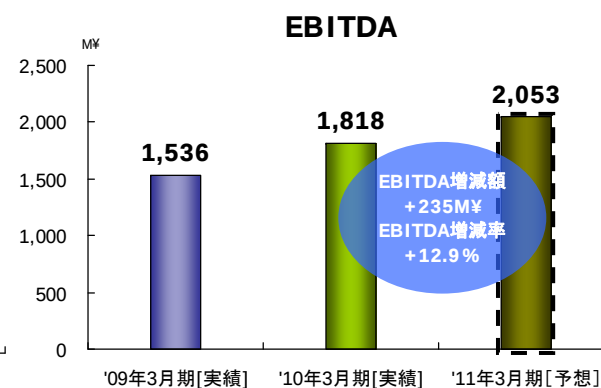
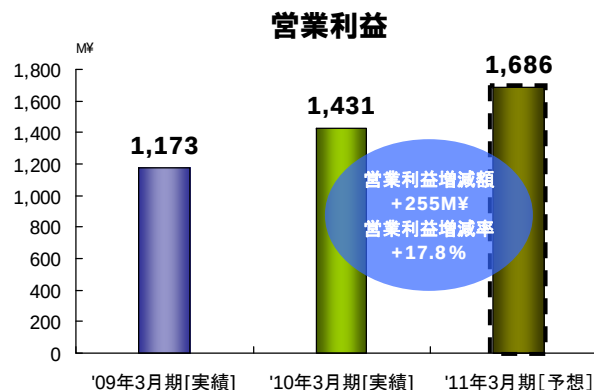
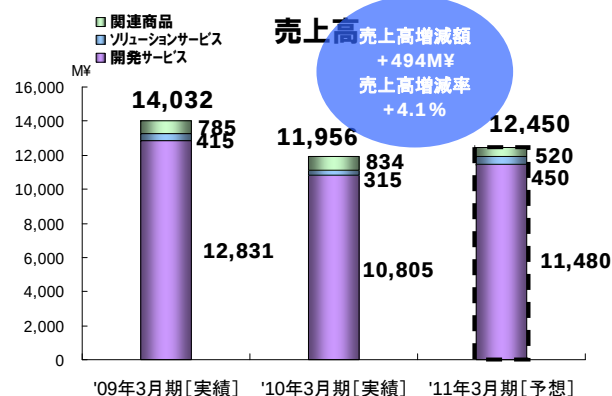
EBITDA	'10年3月期	'11年3月期	前期比	
	実績	予想	増減額	増減率 %
システムインテグレーションサービス(SIS)事業	1,818	2,053	+235	+12.9
セキュリティソリューションサービス(SSS)事業	646	867	+221	+34.2
ディーラー事業	625	1,273	+648	+103.7
消去又は全社	△1,238	△1,953	△715	-
連結	1,852	2,240	+388	+21.0

8. 事業計画- 2011年3月期- 【システムインテグレーションサービス(SIS)事業】

SIS事業

システムインテグレーションサービス (SIS) 事業	'10年3月期	'11年3月期	前期比	
	実績	予想	増減額	増減率 %
開発サービス	10,805	11,480	+675	+6.2
ソリューションサービス	315	450	+135	+42.9
関連商品	834	520	△314	△37.6
売上高	11,956	12,450	+494	+4.1
営業利益 (*)	1,431	1,686	+255	+17.8
EBITDA (*)	1,818	2,053	+235	+12.9

(*) 経営指導料など全社費用の配賦と連結消去前の利益



8. 事業計画- 2011年3月期- 【システムインテグレーションサービス(SIS)事業】

重点施策

- **営業機能の強化と新規のお客様の開拓**
 - ◆ 営業本部の設立による既存のお客様との関係強化および新規のお客様の開拓
 - ◆ グループ総合力を活かした営業展開の継続
- **SSU (Special Service Unit)センターの設置によるソリューション事業の推進**
 - ◆ 各種ソリューションによる新規ビジネス展開の継続推進（セキュリティ・可視化・ノーツなど）
 - ◆ 主要顧客の戦略的案件の開拓（ITトレンド・新技術の研究と提案）
 - ◆ グローバルコスト推進（グローバルリソースデリバリー）
- **生産性向上および品質管理システム・体制の拡充**
 - ◆ 開発効率の向上施策の継続実施（プロジェクトにおける新開発手法導入の推進など）
 - ◆ 重要プロジェクトに対する全社横断的な支援体制による問題早期発見及び品質管理の強化の実施
- **人材育成のさらなる推進**
 - ◆ 若手ビジネスリーダーの育成
 - ◆ ビジネスマインドを持った技術者の育成

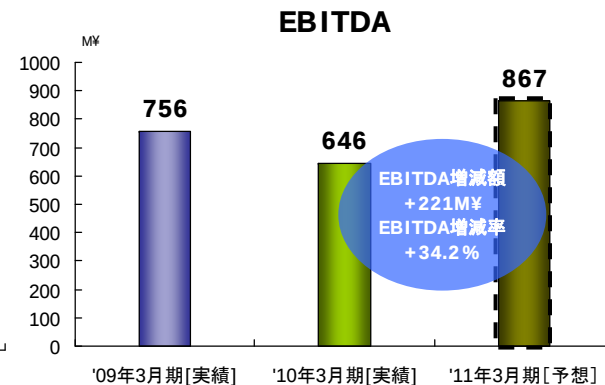
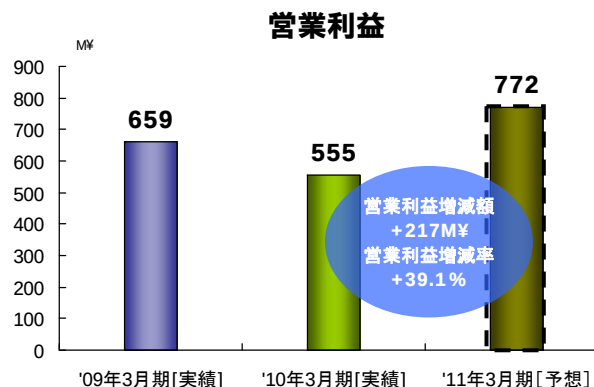
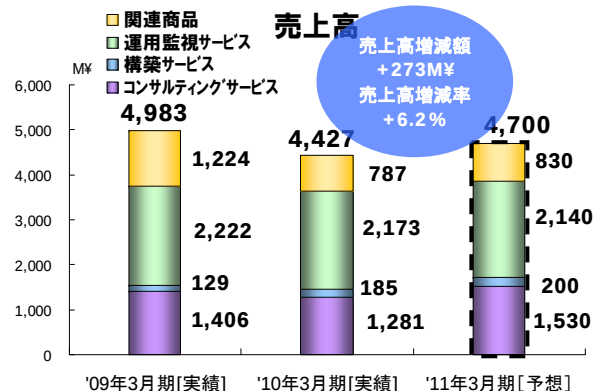


9. 事業計画- 2011年3月期- 【セキュリティソリューションサービス(SSS)事業】

SSS事業

セキュリティソリューションサービス(SSS)事業	'10年3月期	'11年3月期	前期比	
	実績	予想	増減額	増減率 %
コンサルティングサービス	1,281	1,530	+249	+19.4
構築サービス	185	200	+15	+8.1
運用監視サービス	2,173	2,140	△33	△1.5
関連商品	787	830	+43	+5.5
売上高	4,427	4,700	+273	+6.2
営業利益 (*)	555	772	+217	+39.1
EBITDA (*)	646	867	+221	+34.2

(*) 経営指導料など全社費用の配賦と連結消去前の利益



9. 事業計画－ 2011年3月期－ 【セキュリティソリューションサービス(SSS)事業】

重点施策

- 情報セキュリティ関連ストックビジネスの拡充と拡大
 - ◆ サイバー空間における運用事業(サイバービジネスセンター)の立上げ
 - ◆ 運用監視サービスのシェア拡大に向けたパートナー(キャリア/データセンター/クラウド事業社等)販売モデルの再構築
- 情報セキュリティ常駐型サービスの強化
 - ◆ セキュリティ技術者の常駐サービスの拡大に向けたアライアンスの推進
 - ◆ 技術者の多能工化による人的リソースの効率化
- 情報セキュリティ・ビジネスのグローバル展開
 - ◆ 中国現地法人(上海LAC)による日本企業向けサービスの展開
 - ◆ 韓国現地法人(CSLAC)による情報セキュリティ・ビジネスの推進
 - ◆ 米国における日本企業向けサービスの検討

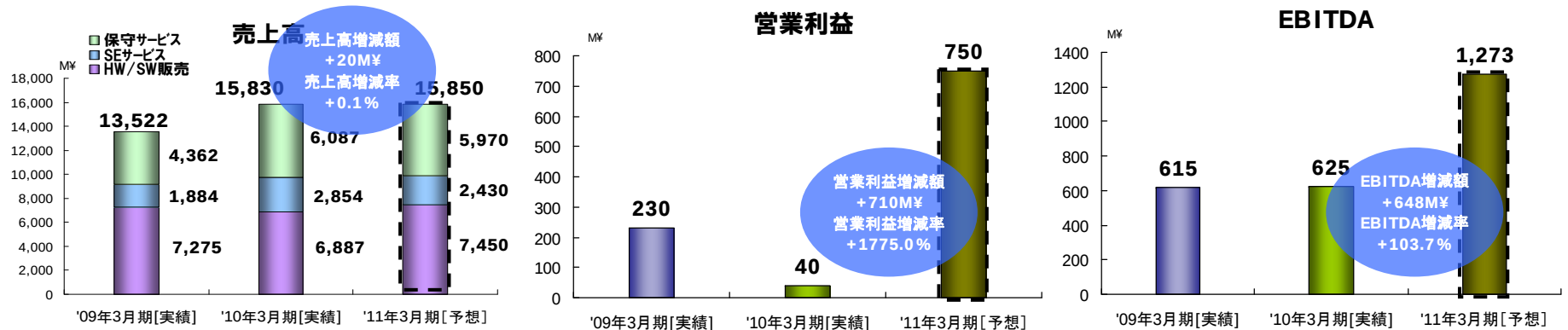


10. 事業計画- 2011年3月期- 【ディーラー事業】

ディーラー事業

ディーラー事業	'10年3月期	'11年3月期	前期比	
	実績	予想	増減額	増減率%
HW/SW販売	6,887	7,450	+563	+8.2
SEサービス	2,854	2,430	△424	△14.9
保守サービス	6,087	5,970	△117	△1.9
売上高	15,830	15,850	+20	+0.1
営業利益(*)	40	750	+710	+1775.0
EBITDA(*)	625	1,273	+648	+103.7

(*)経営指導料など全社費用の配賦と連結消去前の利益



ディーラー事業の'09年3月期の実績は平成20年8月から平成21年3月までの8ヶ月間の数値

10. 事業計画- 2011年3月期- 【ディーラー事業】

重点施策

- 商品・サービスに関するポートフォリオの拡充
 - ◆ お客様のニーズに応える新商品・サービスの拡充
 - ◆ 高度なSE技術力による高付加価値サービスの創造
 - ◆ 非金融業界市場への展開
- 安定的な営業基盤の確保
 - ◆ 経済性および利便性の高い包括契約方式によるストックビジネスの拡充
 - ◆ メーカーとの協業活動の強化による安定的なビジネス基盤を構築
 - ◆ 非金融業界市場への展開



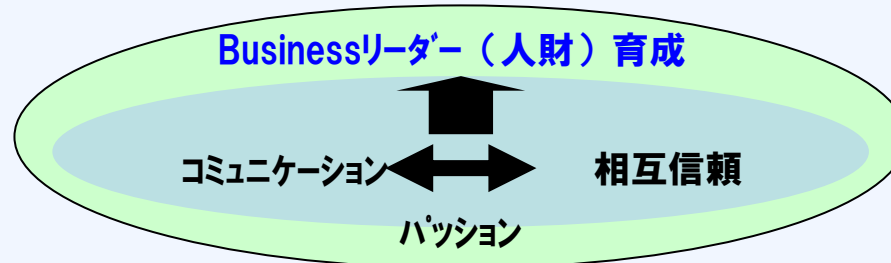
11. 事業統括室の役割と狙い



重点施策

One Team

- グループ総合力を結集し“成長戦略”を創造・実践する集団
- ラックホールディングス・グループ目線で活動できる“人財”育成
 - ◆ 5年～10年レンジでの育成



Challenge
Change
Passion

- 事業統括室メンバー
 - ◆ 各事業会社の次期幹部候補（15名）を中心とした仮想組織
- 当期の活動
 - ◆ 10項目の施策の具体化を実行中
 - 売上増施策:「成長」
 - 経費低減施策:「筋肉質化」



12. 国際事業室の役割と狙い

上海を国際事業の中心として、
中国、米国、韓国、ASEANへ事業を展開していきます

上海楽客網路技術有限公司
(上海ラック)

Seoul : CSLAC Co.,Ltd.
(韓国ラック)

US拠点
(NewYork)

INDIA

ASEAN

2010年中展開予定

Brazil

'09年3月期 : 韓国 CSLAC法人化
'10年3月期 : 上海ラック設立、NY、ASEANの販売活動開始
'11年3月期以降 : 上記拠点での活動を拡大しつつ、インド、ブラジルへの展開を検討

12. 国際事業室の役割と狙い

基本戦略

独立系セキュリティサービス企業として、
APAC（アジアパシフィック）エリアで最大規模の企業となる

APAC地域において情報セキュリティ事業を最初に行った有利性を活かし、
ニッチな同事業分野（情報セキュリティサービス市場）において、
他社よりも圧倒的な規模（社員数、提供サービス領域）の企業となることで、
他社よりも秀でた品質と価格を提供できる企業となる

仮説：

- ① 現在、本事業最大市場の日本においては、新規参入企業はない
- ② 情報セキュリティサービス（特にSOC事業）では、積み上げた経験と人材が必要
- ③ 「サービス」であるため、社員の離職によりノウハウが流出するリスクはあるが、日本企業は相対的に離職率が低い ＝ ノウハウの流出が少ない

12. 国際事業室の役割と狙い

グローバル展開方針

	短期	中期	長期
方針	・主要地域での活動拠点の設立 ・情報収集能力の向上	・アジアで最大規模の情報セキュリティ事業者を目指した成長と拡大 ・主要地域でのSOC事業の立上げ	・アジアでNo.1のSOCサービスプロバイダを目指した成長と拡大 ・LACHDグループの総売上比5%を当国際事業の売上で構成
人材	・中国拠点でのサービス提供体制の確立 ・国籍別採用枠の設定 ・国際事業経験者の採用	・現地採用の拡大 ・会社へのロイヤリティ（精神面/ストックオプション等）の向上	・多国籍社員を採用、維持できる人事戦略の策定 ・グローバル企画、マーケティング機能の確立
情報	・上海子会社の設立 ・北米地域での営業活動の開始 ・ASEAN 市場調査活動の実施 ・情報収集および発信 ・サイバーリスク総合研究所との連携	・情報収集範囲、内容の拡大 ・新規事業拠点（インド、欧州、ブラジル）の市場調査の実施	・シンクタンクとなることによる、情報の収集と発信 ・情報セキュリティ・IT・政治・法律に関する情報の収集
販売	・地元SOC事業者との連携 ・ローカル企業との販売パートナーシップ	・主要地域でのSOC事業立ち上げ	・販売エリアの拡大 ・国際ブランド力の創造



ご清聴ありがとうございました

お問い合わせ窓口：経営管理室
Tel; 03-6757-0100(代表)
E-Mail; ir@lachd.co.jp

JASDAQ(証券コード:3857)
<http://www.lachd.co.jp/>